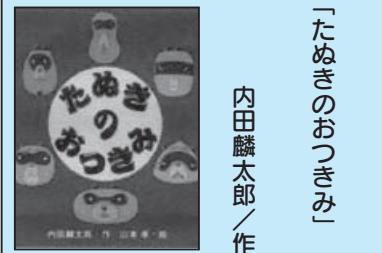


今年の「十五夜」は9月14日 子どもと楽しむお月さまの絵本



内田麟太郎／作

「たぬきのおつきみ」

秋になって稲穂が実り、野菜もたくさんできました。それを喜ぶ村人たち。山のためきも大喜びです。さあ今日はお月見の夜です。お月様は喜んでくれるのでしょうか？

著者は1972年愛媛県生まれ。大阪デザイナー専門学校編集デザインコース絵本科卒。「あとさき塾」「メリーゴーランド絵本塾」で絵本を学ぶ。作品に「十二支のおはなし」など。



アンネ・エルボー／さく

お月さまは、昼間、眠っています。でも夜は大いそがし。みんなが眠っているとき、楽しいしごとをしているのです。どんなしごと？ 99年ポローニア絵本賞（ラガッツィ賞）受賞作。

著者は1975年ブリュッセル生まれ。ブリュッセルの王立美術アカデミーでイラストとコミックを学ぶ。



「14ひきのおつきみ」  
いわむら かずお／さく

兄弟が木にのぼってなにやら準備をしています。そう、今日はお月見。小さいくんちゃんもまざって、一生懸命はしごで高いところへ。ツリーハウスのように木に枝を渡してお月見台を作ります。日が暮れたあとのお月見で、家族そろって静かに月を拝みます。

著者は、1939年東京生まれ。東京芸術大学工芸科卒。「14ひきのあさごはん」で絵本にっぽん賞受賞。98年栃木県那珂川町に「いわむらかずお絵本の丘美術館」を開館。

9月の催しもの

とき	催しもの
7日(日) 11:00～、14:00～	子どもビデオ劇場
13日(土) 11:00～	絵本の主人公を描こう
14日(日) 11:00～	絵本の主人公を描こう
21日(日) 11:00～、15:00～	子ども工作教室
27日(土) 10:30～	のりくんのおじさん
毎週木曜日 10:00～12:30	あかちゃんクラブ ラッコルーム
毎週土曜日 14:00～	「おはなし」と「あそび」の広場

その他の「お月さま」に関する絵本

- ◆ 「おやすみなさい おつきさま」  
マーガレット・ワイス・ブラウン／さく
- ◆ 「おおきなおおきなねこ」  
せな けいこ／作・絵
- ◆ 「パパ、お月さまとって！」  
エリック＝カール／さく
- ◆ 「ソリちゃんのチュソク」 イ オクベ／絵と文
- ◆ 「イノシシとお月さま」 谷 真介／文
- ◆ 「おつきみうさぎ」 中川ひろたか／文



俳句

「蟲時雨」

ふそう俳句会

凜と張る湖面ゆるがす蟲時雨  
水煙の霏より来る萩の風  
ト口箱の秋刀魚鋭く横たわり

森 頌子  
森田 たか  
会田 宗和

川柳

扶桑川柳クラブ

子がこぼすごはん粒母口に入れ  
腹ペコを飴でごまかす脱メタボ  
誤解だと言っても元に戻らない

磯谷 芳子  
丹羽 惠俊  
飯田 秀水

短歌

「守口大根」

ふそう短歌会

庭の土さらさら指ゆこぼれ落つ  
かつて守口大根の畑  
立秋かと呟きおれば庭の木に  
つくつく法師の声にざわし  
語尾あげて吾の日々訊く息子の電話  
雨雲の空ゆるり晴れゆく

後藤 一枝  
松井みつ子  
小木曾澄子

詩吟

「従軍行」

王昌齡

秦時の明月漢詩の関  
万里長征して人未だ還らず  
但竜城の飛将をして在らしめば  
胡馬をして陰山を度らしめず

「意」 秦の頃にも照つた明月、漢の時代からの関所も今も昔も変わらない。万里長征してまだ帰らない。ただ竜城の飛将軍とつたわれた季広将がいたならば、えびすの馬に陰山をわたらせないものを。

山内 正風